

〔資料〕

医師・歯科医師・薬剤師調査 東京都集計結果報告(平成 28 年)の概要

1 医師

産婦人科と産科医師数合計(主たる)は 7.0%、複数回答では 6.0%増加

医師数は 44,136 人で、平成 26 年 12 月調査(以下「前回」という。)に比べて、839 人(1.9%)増加した。また、このうち、医療施設(病院・診療所)に従事する医師数は 41,445 人で、前回より 676 人(1.7%)増加した。

○ 主として産婦人科と産科に従事する医師数の合計は、1,660 人で前回より 109 人(7.0%)増加した。また、二つ以上の診療科に従事している重複計上による産婦人科と産科に従事する医師数の合計は 1,737 人で、前回より 99 人(6.0%)増加した。(図 1)

○ 主として小児科と小児外科に従事する医師数の合計は 2,452 人で、平成 16 年から前回まで増加傾向にあったが、平成 28 年は、前回より 3 人(0.1%)減少となっている。また、二つ以上の診療科に従事している重複計上による小児科と小児外科に従事する医師数の合計は 3,822 人で、前回より 353 人(8.5%)減少した。(図 2)

図 1 医療施設に従事する医師数及び産婦人科・産科医師数の年次推移

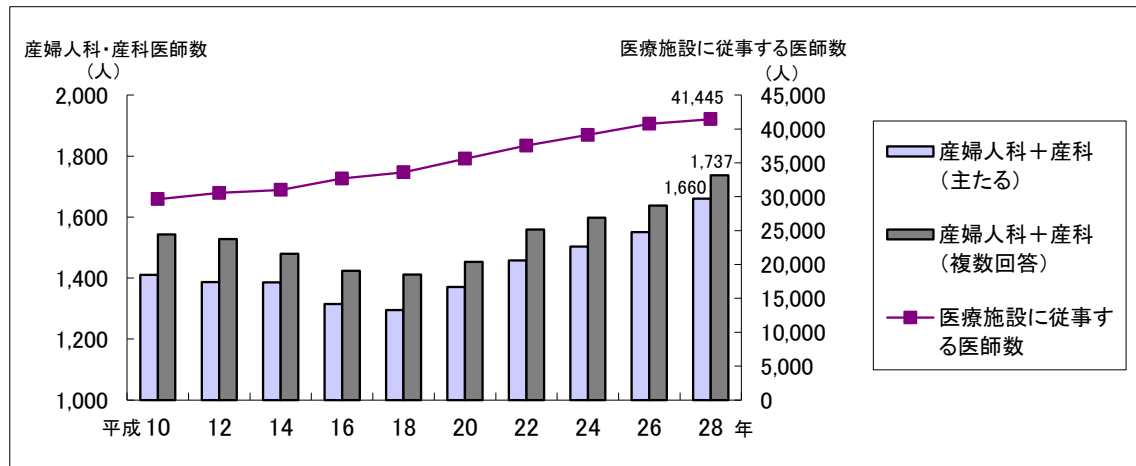
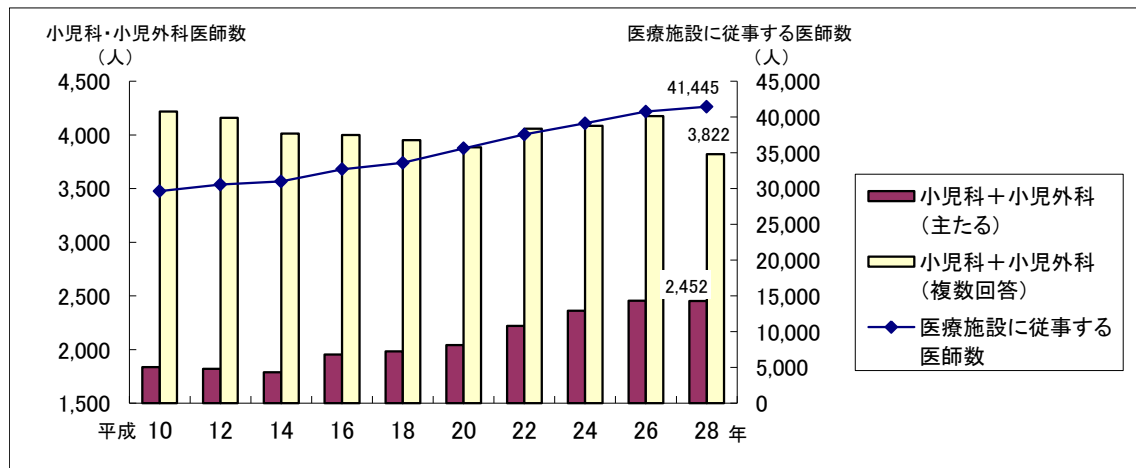


図 2 医療施設に従事する医師数及び小児科・小児外科医師数の年次推移



約 6 割(61.0%)が病院の従事者

主に従事している施設の種別を見ると、「病院の従事者」は 26,914 人(医師全体の 61.0%)、「診療所の従事者」は 14,531 人(同 32.9%)で、医療施設に従事する医師は合わせて 41,445 人(同 93.9%)となっている。そのうち、「病院の従事者」の内訳をみると、「病院(医育機関附属の病院を除く。)の勤務者」が 14,297 人(同 32.4%)で最も多く、次いで「医育機関附属の病院の勤務者」が 12,278 人(同 27.8%)である。

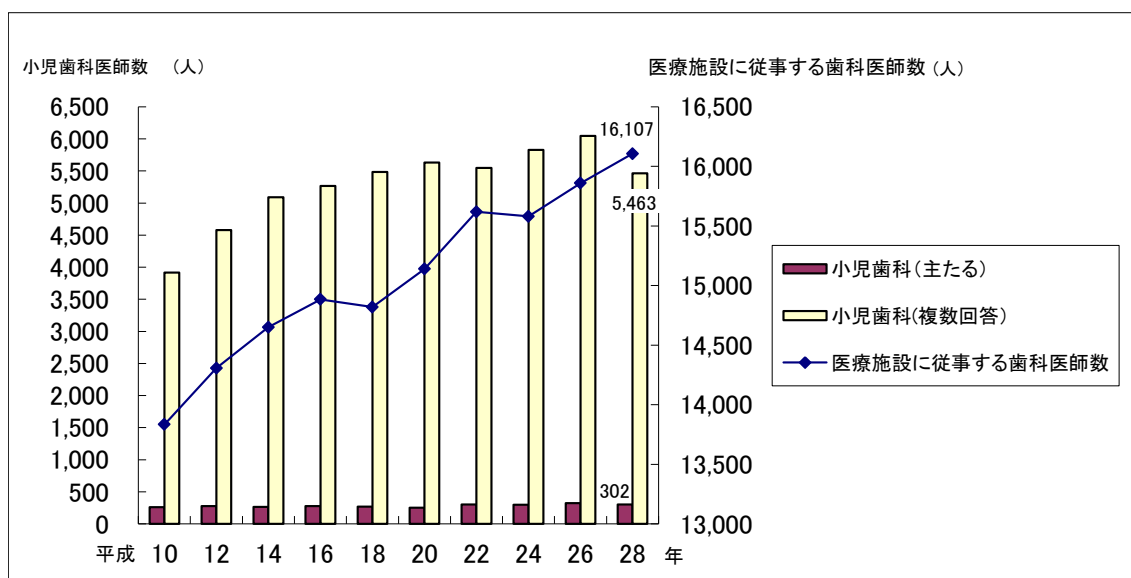
2 歯科医師

小児歯科医師数(主たる)は 6.5%、複数回答では 9.7%減少

歯科医師数は 16,639 人で、前回より 244 人(1.5%)増加した。また、このうち、医療施設に従事する歯科医師数は 16,107 人で前回より 248 人(1.6%)増加した。

主として小児歯科に従事している歯科医師は 302 人で、前回より 21 人(6.5%)減少した。また、二つ以上の診療科に従事する重複計上による小児歯科医師数は 5,463 人で、前回より 585 人(9.7%)減少となっている。(図 3)

図 3 医療施設に従事する歯科医師数及び小児歯科医師数の年次推



約 8 割(81.4%)が診療所の従事者

主に従事している業務の種別を見ると、「診療所の開設者又は法人の代表者」が 8,379 人(歯科医師全体の 50.4%)で最も多く、次いで「診療所の勤務者」が 5,159 人(同 31.0%)であり、「診療所の従事者」は合わせて 13,538 人(同 81.4%)となっている。

一方、「病院の従事者」は2,569人(同15.4%)となっている。

3 薬剤師

約5割(48.0%)が薬局の従事者

薬剤師数は48,813人で、前回より2,470人(5.3%)増加している。また、このうち、女性の占める割合は62.9%である。主に従事している業務の種別をみると、「薬局の勤務者」が21,624人(薬剤師全体の44.3%)が最も多い。「薬局の開設者又は法人の代表者」は1,784人(同3.7%)で、「薬局の勤務者」と合計した「薬局の従事者」は23,408人(同48.0%)になる。次いで「医薬品製造販売業・製造業(研究・開発、営業、その他)に従事する者」が11,138人(同22.8%)、「病院で調剤・病棟業務に従事する者」が5,359人(同11.0%)と続く。また、薬局の従事者を性別にみると、「男」5,962人、「女」17,446人であり、女性の占める割合は74.5%である。(図4)

図4 性別にみた薬局に従事する薬剤師・女性割合の年次推移

